

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大 阪 市 立 大 成 小 学 校

児童数

32

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.47	15.73	31.29	22.86	37.47	9.93	152.33	17.73	47.00
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.27	15.86	41.07	26.21	35.50	9.53	158.79	14.13	53.69
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

男子は、8種目中1種目だけ大阪市と全国を上回り、女子は、8種目中5種目で大阪市と全国を上回り、1種目で大阪市を上回った。体力合計点は、男子は、大阪市と全国を下回ったが、女子は、大阪市を上回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか。」という質問に対して、男子は、全員が、「好き」、または、「やや好き」と回答し、女子は、86.7%が、「好き」、または、「やや好き」と回答し、男女ともに大阪市と全国を上回った。「1週間の総運動時間が60分間未満の児童の割合」は、男子が、6.7%、女子が、6.6%で、男女ともに、大阪市と全国を下回った。

女子は、運動やスポーツをすることが好きで運動時間が長いことが、いい結果につながったと考えられる。一方、男子は、運動やスポーツをすることが好きで運動時間が長いことが、いい結果につながらなかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の授業改善や、体育的行事の取り組みの充実などによって、児童の体力・運動能力の向上を図ってきた。

トップアスリート「夢・授業」に毎年度応募して、トップアスリートから受ける指導・支援、そして、刺激によって、児童の運動への意欲向上を目指してきた。

これまでの以上のような取り組みを引き続き、継続して、さらに、創造・充実・発展させる必要がある。

上記の「結果の概要」で述べた男女同じように「運動やスポーツをすることが好きで、運動する時間が長い」が、体力・運動能力の結果として、男女差が出たことを詳しく分析して、今後の指導・支援に活かす必要がある。